

# センター通信

## 地蔵盆 夏の終わりの伝統行事

—地域での子どもの役割—



伊丹市教育委員会事務局  
生涯学習部長 小長谷 正治

京都府北部の小さな町で育った私にとって、地蔵盆は夏休み最後の楽しみの行事でした。8月24日の本番を控えて、待ちわびたように数日前から準備に入ります。町内の6年生を中心に小学生が集まり、先ずは山あいの古道に並ぶ石のお地蔵様を4・5体ほど、一輪車で里までおろし、川の水で綺麗に洗った後、水で溶いた石灰を塗り、その上に絵の具で目や鼻、口、そして衣を色鮮やかに描きました。前日になると、神社境内の倉庫から木製の組み立て式のほこらの祠を、やはり一輪車で運んで、お地蔵様を安置するのです。提灯などの飾りは、町内の各家から集めたお金で新調し、当日は朝から最後の飾りつけを行って本番を待ちました。だいたい夕方、涼しくなった頃からお参りが増え、お供えのお菓子やスイカが積み上げられ、そして提灯にほのかな灯がともって、地蔵盆は最高潮を迎えます。地蔵盆の行事は翌日の後片付けを含め、6年生をトップに、すべてを子ども達が仕切り、実行したものでした。

近年、地域住民間のコミュニティーの希薄化、地域行事や学校行事への関心度の低下が心配されていますが、私が子ども時代を過ごした昭和30年から40年代前半には、地蔵盆のような地域の伝統行事が、先輩から後輩へ、大人から子どもへと引き継がれていたように思います。このような地域社会での引き継ぎは、伝統行事に限らず地域自治の運営や、例えば地域の未舗装の道路の保全を行う道普請みちぶしんや水路掃除などの共同作業を通して行われ、地域の後継者、担い手を育成するという役割も果たしていました。また、子どもにとっては地域社会の一員となるための通過儀礼の意味をもっていたものと思います。

最近は帰郷するたびに、子どもを見かけることが少なくなったと実感しています。子どもが集まって声を上げて遊ぶ姿を見ると、なんだか元気が出るような気がするのは私だけではないでしょう。子どもには“地域の活力を生む力”があるのです。そのためか、各地で行われる地域づくりの様々な活動の中で、子どもの参加を促す行事が行われています。ただ、そこで考えておかなければならないことは、子どもの参加ではなく参画、子どもの積極的な関わりや子どもの主体性を引き出すことです。次へと繋がる後継者、担い手の育成までを見通した行事となることが、地域の将来にとって大切なことではないでしょうか。

## 露出・不審者・チカン事案多数

兵庫県警察本部の防犯情報等配信システムである「ひょうご防犯ネット」で4月～7月にかけて多数の露出、声かけ、チカンなどの情報が発信されています。

	4月	5月	6月	7月	合計
露出	2	3	8	3	16
不審者	0	0	3	0	3
チカ・かいせつ	3	2	3	3	11
つきまとい	2	0	1	0	3
声かけ	1	1	3	0	5
その他	1	1	1	1	4
合計	9	7	19	7	42

一部を紹介します。

### 露出

- ・徒歩で通行中の女子児童に対して下半身を露出して見せる。犯人は30歳位であった。
- ・下半身を露出して自転車で走っている男がいた。犯人は30～40歳位であった。
- ・一見高校生風の自転車に乗った男が成人女性に対して、下半身を露出して見せた。

### 不審者

- ・下校中の女子児童に後方から近づき耳元で大きな声を出し逃走した。
- ・徒歩で通行中の男が手に包丁のような物を持って、意味不明な奇声を上げながら歩いていた。

### チカン・わいせつ

- ・女子生徒に下半身を露出し、後方から身体を触り、逃走した。
- ・自転車で帰宅中の成人女性に対して、追いつきざまに体を触り、逃走した。
- ・集合住宅敷地内で、女子生徒に対して後方から来た犯人がわいせつな行為をした。

### つきまとい

- ・下校中の女子児童に後方から自動車につきまったり、自動車のスライドドアを開け、車内から無言で見つめたりした。
- ・通行中の女子生徒に自転車に乗った男が無言でつきまとい、その後立ち去った。

### 声かけ

- ・マンション敷地内で遊んでいた女子児童に、2人組の男が意味不明な言動で声かけをした。
- ・帰宅中の女子児童に「家を教えて？」と声をかけた。

### その他

- ・男子生徒2名を呼び止め、暴行を加えて財布を奪った。
- ・自転車で走行中の男子生徒にモデルガンから数発玉を発射した。

これからも益々暑い日が続きます。露出やチカンなどに十分注意をするように、地域の皆様、保護者の皆様、先生方は以下のことを子どもたちに呼びかけて下さい。

- ・下校はなるべく複数で帰り、後方には十分注意をする。
- ・名前を知っていたり、優しくそうな人に声をかけられてもついていけない。
- ・防犯ブザーは効果的です。いざという時にすぐ使用できるように日頃から訓練しておく。
- ・周囲、特に後方への注意力が散漫となる「歩きながら」の携帯電話やイヤホンの使用は控える。
- ・警察へ早めに通報をする。

※ 地域の皆様、これからも見守り活動をよろしく願いいたします。

### ◆街頭補導の件数 暫定値《平成27年7月》

	幼小	中	高他	大人	計
声かけ・会話	435	123	136	205	899
あいさつ	374	56	59	175	664
遊びに関して	44	39	19	0	102
ぐ犯・不良行為	0	3	13	0	16
交通に関して	10	21	61	144	236
計	54	63	93	144	354

### ◆電話・来所相談の件数 《平成27年7月》

	電話相談	来所相談
件数	11	1
前月比	-5	+1
累計	47	1

### ◆白ポスト回収状況 《平成27年7月》

	数量	前月比	累計
有害図書	208	+131	3508
有害AV	1216	+747	
計	1424	+878	

### 白ポスト設置場所 (市内16箇所)

車塚公園・阪急稲野駅・南センター・阪急新伊丹駅・阪急伊丹駅・いたみホール  
 荒牧バラ公園バス停・荒牧バス停・北センター・中野西公園・裁判所前・山田バス停  
 女性児童センター・JR伊丹駅1F・JR北伊丹駅南口駐輪場・西桑津バス停

## 8月の主な行事

6日(木)	少年補導委員連合会定例理事会
7日(金)	兵庫県青少年センター所長一日研修会
10日(月)	少年を守る日 市内広報・一斉補導
18日(火)	伊丹市少年進路相談員連絡会

19日(水)	合同教育相談
19日(水)	三市(宝塚市・伊丹市・川西市) 合同補導
22日(土)	いたみ花火大会
25日(火)	伊丹市少年補導委員全体研修会
28日(金)	有害図書回収
28日(金)	神戸保護観察官駐在

※「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市少年愛護センター(Tel: 780-3540)までお寄せください。